

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-4-2		事業名	北海道洞爺湖サミット開催関連事業
担当	総務局国際部交流課 佐藤 TEL211-2032			
全 体 計 画				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サミット開催に合わせて行う札幌PR事業の積極的な展開</li> <li>・北海道洞爺湖サミット道民会議等を通じたサミット開催支援</li> </ul>		＜年度別の事業内容＞	
			本事業は、平成20年度のみのものである。	
事業内容 ・量 ・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(決算)	
事業内容 ・規模 ・件数 等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(決算)	
	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(決算)	

北海道洞爺湖サミットの開催にあたり、道都としての責任を果たすため、庁内に市長を本部長とする「札幌市サミット推進本部」を立ち上げ、①サミット支援協力事業(国及び道への支援) ②札幌の魅力発信事業 ③環境都市づくり事業 ④国際理解促進事業 ⑤市民の安全確保対策 の5事業を軸に、全庁体制で準備に取り組んだ。

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-4-2			事業名	北海道洞爺湖サミット開催関連事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
サミットの支援	-	-	推進			推進 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 北海道洞爺湖サミットを契機に国内外から来札する多くの方々を歓迎するために、官民合同で「札幌おもてなし委員会」を設置し、委員会の構成団体がそれぞれおもてなし事業を企画・実施するなど、市民参加を促進した。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]「おもてなし委員会」を通じた様々な活動により、観光関係従事者等のおもてなしのレベルアップを図ることができる。 [情報協力] 海外プレスに対し、積極的に札幌の情報発信を行なうことにより、札幌の魅力を海外にアピールする。 [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 官民合同の「北海道洞爺湖サミットおもてなし委員会」の設置により、多くの市民や企業が参加しやすい仕組みとした。また、北海道洞爺湖サミットを身近に感じてもらうために市民向けセミナーを開催したが、その開催に当たっては、広報さっぽろ、ホームページの他、ラジオやテレビでのPRを行なった。</p>							
評価(成果)			課題				
札幌おもてなし委員会の活動や市民向けセミナーの開催により、北海道洞爺湖サミットを契機とした来札者に対するおもてなしの機運の醸成され、市民の国際理解が促進された。また、来札する海外の報道関係者に対して本市の魅力を発信することができた。			「サミットを単なる一過性のイベントとして終らせることなく、将来の札幌にとってプラスになるように生かす契機とする」ことを目標として事業に取り組んでおり、サミットを通して得た貴重な経験をどう今後のまちづくりに活かしていくかが課題である。				
今後の事業の予定・方向							
<p>本事業は、平成20年度で完結した事業であるが、既述の通り、今回サミットを通して得た貴重な経験を今後のまちづくりに活かしていく。また、ポストサミットの国際会議誘致活動として、北海道とともに2010年のAPEC首脳会議及び大臣会合の誘致に取組み、本市で貿易担当大臣会合を開催した。</p> <p>今後は、札幌国際プラザ及び観光コンベンション部と連携し、首都圏においてMICEに関する情報収集に努めると共に積極的な誘致活動を行い、中長期的な視点から国際機関の誘致に向けて、関係機関と連絡を図りながら情報収集・情報発信を行っていく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-4-2			事業名	北海道洞爺湖サミット開催関連事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳	国・道支出金								
		市の債								
		その他の財源								
予算	事業費	0	45,000	0	0	45,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の財源	0	45,000	0	0				
実績	事業費	0	53,088	0	0	53,088				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0				
		市の債	0	0	0	0				
		その他の財源	0	53,088	0	0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度] 予算段階においてサミットそのものの詳細が確定していなかったことから、当初想定しえなかった、外国人向け案内所やリエゾンオフィス(市内7ホテル)の設置についての支出があった。										
[21年度]										
[22年度]										